

# 日本空調グループ

## 日本空調サービス(株)

本社・支店・営業所: 65拠点

## グループ会社

国内6社: 16拠点

海外9社: 11拠点(7カ国)

- 日本空調サービス(株)
- 日本空調システム(株)
- (株)日本空調北陸
- (株)日本空調東北
- (株)日本空調東海
- 日空ビジネスサービス(株)
- イーテック・ジャパン(株)

- 蘇州日空山陽機電技術有限公司
- 上海日空山陽国際貿易有限公司
- NACS BD Co., Ltd.
- Evar Air-conditioning & Engineering Pte Ltd
- NACS Singapore Pte. Ltd.
- NACS TPS ENGINEERING CO., LTD.
- NIPPON KUCHO SERVICES (M) SDN. BHD.
- NACS ENGINEERING VIETNAM CO., LTD.
- NACS Engineering Myanmar Co., Ltd.

[www.nikku.co.jp](http://www.nikku.co.jp)



### 拠点網の動向

2019年4月 ● (株)日本空調岐阜を  
吸収合併により事業統合



※拠点情報につきましては、2019年10月31日現在で表記しております。

UD FONT  
by MORISAWA  
見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。

VEGETABLE  
OIL INK



きれいにしよう日本の空を

# 日本空調サービス株式会社

証券コード: 4658



今日をきれいにする。明日のために。

株主の皆様へ

## 第57期 上半期報告書

2019年4月1日~9月30日



## 日本空調グループ 経営理念

お客様に安心感を与える  
最適な環境を維持するために、  
技術力と人的資源を結集させ、  
高品質サービスを提供する。

全社員が一丸となって経営理念を共有し、  
お客様の満足度のより一層の向上を追求  
しております。

これからも、建物設備のメンテナンスサー  
ビスを通じて、建築物に要求される最適な環  
境を実現する「環境創生企業」として社会  
に貢献することが、私たち日本空調グルー  
プの使命であると考えております。

## P.5▶ Special Interview



取締役執行役員経営企画部長 花田 良徳 × 代表取締役社長 田中 洋二 × 執行役員海外部長 南 清司

### 海外事業の現状と今後の戦略

今回は、現在7カ国で展開している当社グループの「海外事業の  
現状と今後の戦略」について、当社代表取締役社長 田中 洋二、  
取締役執行役員経営企画部長 花田 良徳及び執行役員海外  
部長 南 清司にインタビューを行いました。

### CONTENTS

株主の皆様へ 2

連結業績ハイライト 3

Special Interview 5

今後の株主還元方針 8

会社情報 9

## 株主の皆様へ

日本空調ブランドの一層の強化と  
グローバル化を促進させ、  
全てのステークホルダーの幸せを  
追求してまいります。

株主の皆様には平素より  
格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。  
ここに当社2020年3月期上半期  
(2019年4月1日から2019年9月30日)における  
営業の概況ならびに決算の内容等につきまして  
ご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、  
今後とも一層のご理解とご支援を賜りますよう、  
お願い申し上げます。

2019年11月  
代表取締役社長 田中 洋二



### 2020年3月期上半期の連結業績

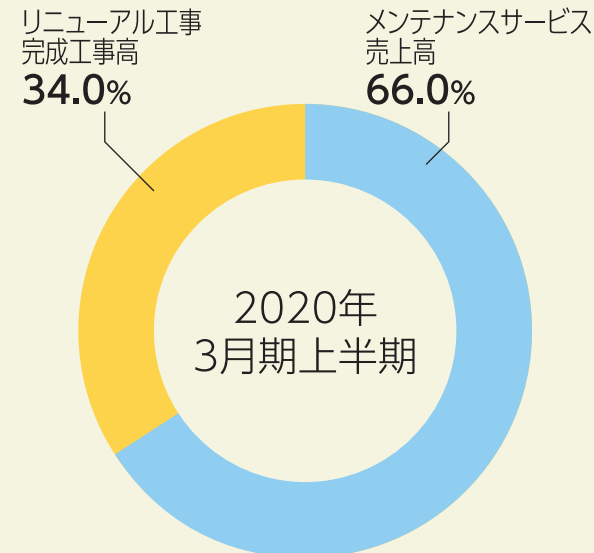
当社グループにおいては、サービスを提供する現場でのお客様との接点を最重要視し、当社のノウハウを活かした、設備及び環境診断・評価、ソリューション提案(省エネ・省コスト提案、環境改善提案)を通じてお客様の潜在的ニーズの掘り起こしに努め、新規物件の獲得や既存契約の維持に取り組んでまいりました。この結果、消費税率引き上げ前の駆け込み需要や、産業用太陽光発電システムの駆け込み需要に伴い増加した前連結会計年度末の受注残高を順調に消化したこと等により、当第2四半期連結累計期間の売上高は**23,521百万円**(前年同期比**15.6%増**)、営業利益は**1,624百万円**(同**39.9%増**)、経常利益は**1,705百万円**(同**38.2%増**)、親会社株主に帰属する四半期純利益は**1,077百万円**(同**34.0%増**)となりました。

詳細な財務情報は、当社Webサイト [www.nikku.co.jp](http://www.nikku.co.jp) 掲載の**決算短信**をご覧ください。

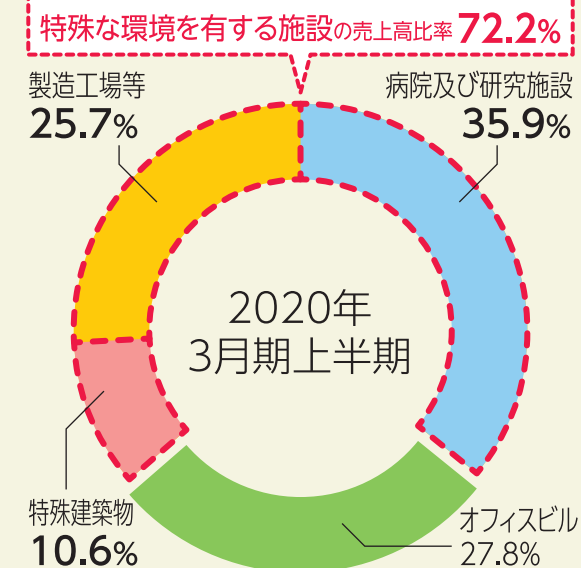
[トップページ](#) ▶ [投資家情報](#) ▶ [IRライブラリ](#)

	2019年3月期上半期	2020年3月期上半期	
売上高	20,346 百万円	23,521 百万円	15.6% UP
営業利益	1,161 百万円	1,624 百万円	39.9% UP
経常利益	1,234 百万円	1,705 百万円	38.2% UP
親会社株主に帰属する四半期純利益	804 百万円	1,077 百万円	34.0% UP

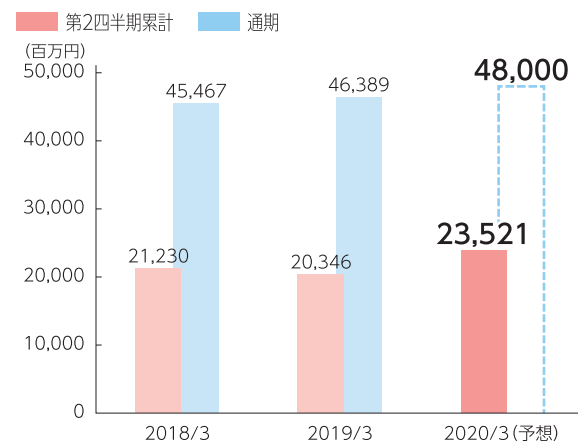
種類別売上高構成



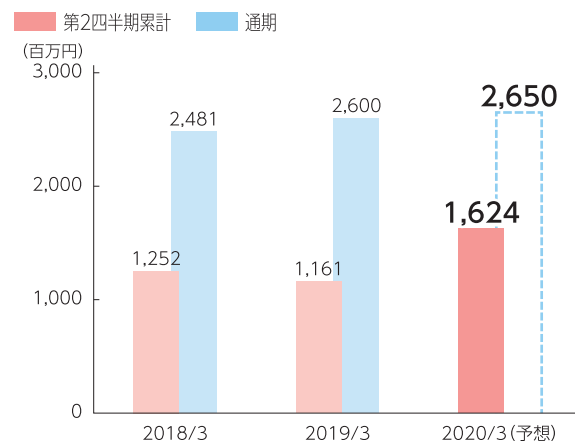
受託施設別売上高構成



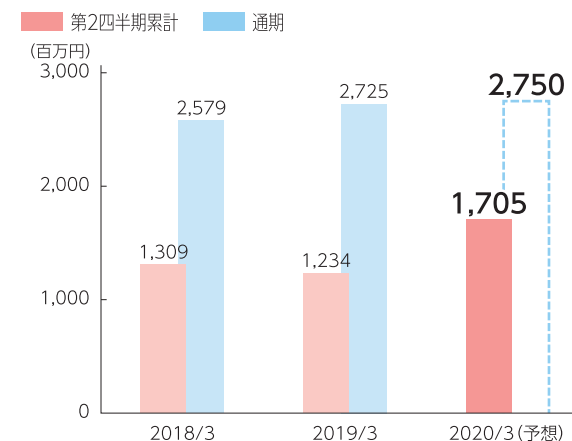
売上高



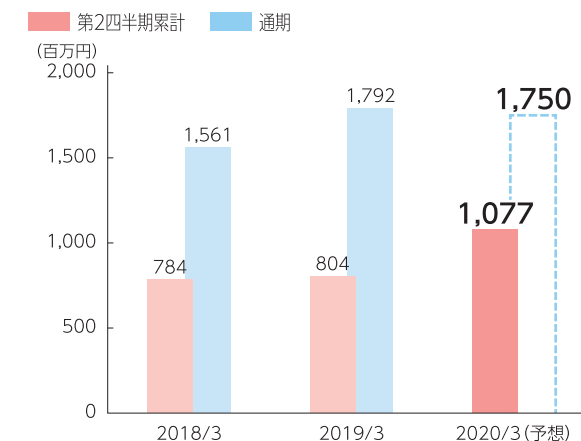
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益





# Special Interview

## 海外事業の現状と今後の戦略

日本空調グループ(以下、当社グループ)は2019中期5ヵ年経営計画で掲げる5年後(2024年)の目標【海外営業利益比率\*5%達成】を目指し、海外7ヵ国(11拠点)で事業を展開しております。

今回は、海外事業の現状と今後の戦略について、  
日本空調サービス㈱代表取締役社長 田中 洋二、  
取締役執行役員経営企画部長 花田 良徳、  
執行役員海外部長 南 清司にインタビューを行いました。

※連結営業利益に占める海外営業利益比率

### まずは、2015年以降、東南アジアに次々と拠点を設立した経緯についてお聞かせください。

**田中:** 東南アジアを国別でなく一地域として捉えると、面積は日本の約12倍、人口は約5倍の6億5千万人のぼります。これから人口ボーナス期を迎える国も多く、**労働人口の増加による経済発展が期待されます。**そして、それに目を付けた**多くの日系企業が東南アジアへ進出しています。**私たちは、現地の日系企業の工場に日本国内と同様の高品質な設備メンテナンスサービスを提供し、お客様が本業に注力できるようサポートをしたいと思い、東南アジアへ進出いたしました。

**花田:** 当社グループは工場、特に維持管理に高度な技術力を必要とするクリーンルーム\*を有する工場の設備

メンテナンスを得意としており、さらに、お客様の要望に合わせた最適な省エネ・ソリューション提案が可能です。東南アジアの現地企業は簡易的な機器の修理はできますが、当社グループのように高度な部分の対応はできません。現地企業と差別化した営業活動を日系企業のお客様に対して行うことで、当社グループの活躍フィールドを着実に広げることができると見えています。

※空気中のゴミ・細菌の数や温度・湿度・室圧が徹底的に管理された部屋のこと。



代表取締役社長  
田中 洋二

**南:** 中国に進出したのは20年前ですが、現在、中国子会社は当社グループの中でトップクラスの利益率を誇っています。**現地で工業団地が開業されてすぐに進出したことが功を奏し、**多くの得意先を獲得でき、目覚ましい成長を遂げました。近年は東南アジア市場が当時の中国のように急成長しており、その波に乗り当社グループも成長していこうと目論んでいます。

### 各国の状況を教えてください。

**南:** 順調な国は、中国、タイです。中国は、先ほど述べた通りです。タイは後発組で最初は苦勞しましたが、昨今はタイでも**省エネ等付加価値の高い提案に興味を示していただき、**着実にお客様を増やしております。

一方、シンガポールは、Evar Air-conditioning & Engineering\*にて華僑の創業者が第一線を退いたことや、客先都合で指名発注から入札発注へ変更となったこと等の要因で、苦勞をしております。現在、日系企業への営業活動も行い、細かな案件にも目を配りながら取りこぼしのないよう、初心にかえり営業活動を行っております。

※シンガポール国内のオフィス・商業ビル関連の空調設備メンテナンス業を展開している。2015年に当社が株式を取得し連結子会社化。

**田中:** これから拡大が見込める国は、マレーシア、ベトナム、ミャンマーです。後発組であるマレーシア、ベトナムについては、**開業して3年目を迎える2020年度から徐々に拡大を見込んでいます。**当社のように設備メンテナンスを生業とする業種は、残念ながら一朝一夕に受注が望める業種ではありません。今までに蒔いた種が実を結ぶ時が近づいてきたと確信しております。

**花田:** 特にミャンマーは、日系の工業団地ができてまだ日が浅く、20年前の中国進出時と同様に**先駆者として当社グループが進出しているため、**このアドバンテージを生かしたいですね。

### 各国での人材確保・教育はどのように行っていますか？

**南:** 未経験者でもなるべく若い人材を採用し、日本空調の技術者として育成しております。日本から熟練者が現地を訪問し教育を行うこともありますが、基本的には駐在員がOJTで日本流のサービス精神と技術を日々教え込んでいます。

**田中:** 当然、日本と比べれば離職率は高いですが、各社の規模も小さく家族的な会社ですので、入社時から継続して勤務している現地社員も各社に在籍しています。



OJTで現地社員を日々教育しています。



取締役執行役員  
経営企画部長  
花田 良徳



## 海外での営業体制について詳しく教えてください。

**花田:** 今年6月、タイのバンコクに駐在員事務所を設置しました。東南アジアの要であるバンコクに駐在員事務所を置くことで、バンコクから東南アジア全体のマーケティング支援が可能となり、各国の情報をタイムリーにシェアしながら、点ではなく、**東南アジアを面で捉えた営業活動が実現しつつあります。**

## 駐在員は現地でのどのようなことに苦労していますか？

**南:** 海外では部品の調達等に苦労しています。日本とは違い、偽物が当たり前のように出回っており、安易に購入すると大変な目にあいます。当社グループの駐在員は、これらを見極める能力を持っています。また、東南アジアの皆さんは概しておおらかで素直な人が多いですが、仕事の価値観・慣習の違いによる指導の難しさがあります。現地の皆さんの価値観・慣習を理解し、じっくり向き合い、コミュニケーションを

積み重ねながら根気よく指導をしています。どうすれば上手くいくか、駐在員は色々実践しながら日々精進しています。

## 海外事業の今後の展望について聞かせてください。

**田中:** 今後、各国における情報の可視化と共有を進めてまいります。現在は国単位で事業展開を行っていますが、各国の営業活動情報、収益状況を可視化し全拠点で共有することで、経営効率アップ、ビジネススキームの拡大が可能となります。

また、日本で半世紀以上にわたって培った当社グループの技術力とノウハウを武器に、今後更に営業活動を強化し、技術者の育成を行いながら顧客拡大をしてまいります。当社グループの事業により**現地の人々の幸せ向上に繋がるよう**、今が勝負の時と捉え、5年後の目標達成に向けて努力してまいります。これからの活躍にどうかご期待ください。



執行役員 海外部長  
南 清司

## 今後の株主還元方針

当社グループでは、“**1株当たり当期純利益**”を重要な経営指標と捉えており、今後の方針としましては、2024年3月期に**54円**を目標として取り組んでまいります。

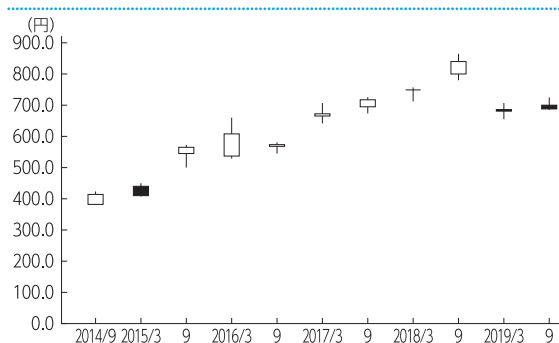
利益還元の基本方針につきましては、現在推進中の「2019中期5カ年経営計画」にて、連結配当性向**50%**を維持していくこととしております。2020年3月期の配当につきましては、中間配当を1株につき**12円50銭**とさせていただきます。また、期末配当につきましては**12円50銭**の予想としております。これにより、2020年3月期の年間配当金は1株につき**25円**(連結配当性向**50.1%**)とさせていただきます予定です。

## IRカレンダー(2019年10月1日~2020年3月31日)

日付	内容	開催場所
2019年10月31日	2020年3月期第2四半期 決算発表	—
11月13日	2020年3月期第2四半期 アナリスト向け決算説明会	東京
11月25日	SMBC日興証券株式会社主催 個人投資家向けIRセミナー	名古屋
12月4日	名証IRセミナー in 大阪	大阪
2020年1月31日	2020年3月期第3四半期 決算発表	—

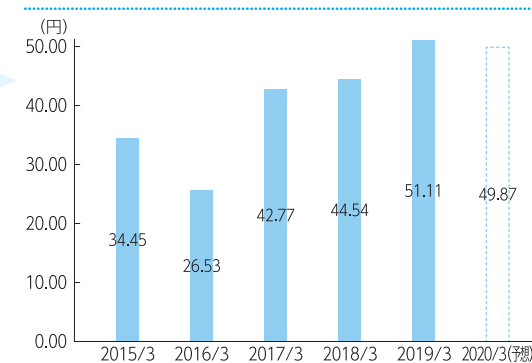
※本誌作成時点での実績・予定となります。

## 株価

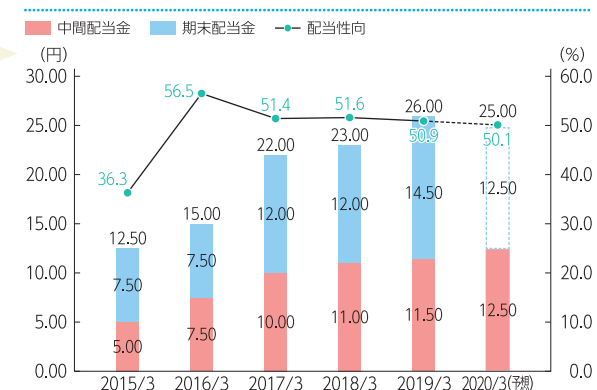


※2016年4月1日付で、普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。  
※2016年3月期以前の1株当たり当期純利益及び配当金の額、株価につきましては、上記株式分割を調整した金額としております。  
※2019年9月末の配当利回りにつきましては、2020年3月期の1株当たり配当金(予想)で算出しております。

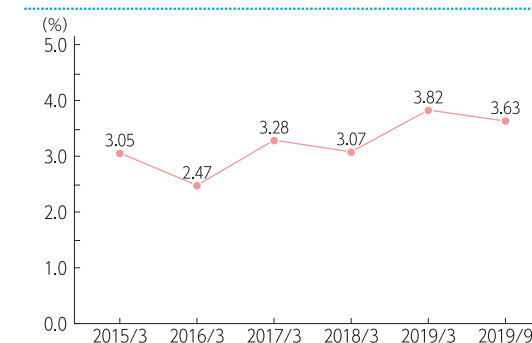
## 1株当たり当期純利益



## 1株当たり配当金・配当性向



## 配当利回り



## 会社概要

- 商号 日本空調サービス株式会社  
Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd.
- 住所 〒465-0042  
愛知県名古屋市名東区照が丘239番2
- TEL 052-773-2511 (代表)
- 設立 1964年(昭和39年)4月28日
- 資本金 1,139,575千円
- 事業内容 総合建物設備メンテナンスサービス業
- 従業員数 1,323名

## 役員

取締役	
代表取締役社長	田中洋二
取締役	草野幸士
取締役	中村秀一
取締役	花田良徳
取締役	渡邊一彦
取締役	中町博司
取締役	室谷敏彰
取締役	景山龍夫
取締役	森田尚男

監査役	
常勤監査役	小林正博
監査役	渡邊資史
監査役	佐伯典久
監査役	寺澤実

執行役員	
執行役員	中村秀一
執行役員	中司等
執行役員	花田良徳
執行役員	草野幸士
執行役員	依藤敏明
執行役員	松本恒臣
執行役員	首藤健
執行役員	松井正
執行役員	渡邊一彦
執行役員	南清司
執行役員	諏訪雅人
執行役員	大木正毅

- (注) 1. 取締役 草野幸士、中村秀一、花田良徳及び渡邊一彦は、執行役員を兼務しております。  
 2. 取締役 景山龍夫氏及び森田尚男氏は、社外取締役です。  
 3. 取締役 景山龍夫氏及び森田尚男氏は、東京証券取引所及び名古屋証券取引所に独立役員として届け出ております。  
 4. 監査役 佐伯典久氏及び寺澤実氏は、社外監査役です。  
 5. 監査役 佐伯典久氏及び寺澤実氏は、東京証券取引所及び名古屋証券取引所に独立役員として届け出ております。

## 株式情報

- 発行可能株式総数 72,000,000株
- 発行済株式総数 35,784,000株
- 株主数 5,621名
- 大株主の状況

株主名	持株数(千株)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,859
日本空調サービス従業員持株会	2,508
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,936
株式会社三菱UFJ銀行	1,640
株式会社愛知銀行	1,336
東京海上日動火災保険株式会社	1,128
岐阜信用金庫	800
K I A F U N D 1 3 6	717
岡地修	578
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	492

※当社は自己株式(551千株)を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

### ● 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先: 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所、名古屋証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="http://www.nikkei.co.jp">www.nikkei.co.jp</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

- 所有者別株式分布状況
- 
- 株主数推移(自己・機構名義含む)
- 
- 株主メモ
- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
  - 特別口座に口座をお持ちの株主様の各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてお取次ぎいたします。
  - 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。